



平成17年2月

第68号

ながい市議会 だより



“雪に遊ぶ”

「スキーを履いてパン食い競争」

1月15日(土)、道照寺平スキー場で行われた平野地区の「土曜ランド・雪中遊び」主催：平野小PTA・子ども会育成会連絡協議会・地区公民館)には、17人の元気な子ども達が参加して、タイヤやチューブを使った特製ソリで滑って遊んだり、スキーの乗り方を教えてもらったりしました。参加者の中には中央地区や西根地区の子ども達もいて、地元の子供達と一緒に雪遊びを楽しんでいました。

ふれあい

学び体験

おもな内容	ページ
*議会の動き……………	2～3
*一般質問……………	4～9
*予算特別委員会……………	9～10
*長井の ^こ ところ……………	11
*委員会の焦点……………	12～13
*傍聴席……………	14

新年あけましておめでとうございます

公職選挙法は、議員や政治家が選挙区内の住民に答礼のための自筆によるものを除いて、年賀状などを出すことを禁じています。

法を厳守し、紙面より年賀のご挨拶といたします。

長井市議会

活力に満ちた 個性豊かな
まちづくりをめざして



議長
鈴木 良雄

議長 鈴木 良雄
副議長 佐々木謙二

市民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、相次ぐ台風や震災などの自然災害に加え、凶悪犯罪も数多く発生し暗い出来事多い一年でした。今年は明るい話題の多い平穏年になることを願うものです。

さて、地方自治体を取り巻く環境は、地方分権が一層進む中、地方の自立が課題となっており、自らの知恵と自力で、個性のあるまちづくりをどのように進めていくかが問われています。

市議会としても、山積する重要な課題を解決、克服し、市勢発展のため決意を新たに一層努力してまいりますので、今後ともなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げ新年のご挨拶いたします。



谷口栄子



大道寺 信



内谷重治



我妻 昇



副議長 佐々木謙二



渋谷佐輔



蒲生光男



鳥谷政一



町田義昭



安部 隆



藤原民夫



鈴木小市



大沼 久



小関勝助



高橋孝夫



鈴木新助



島田友市



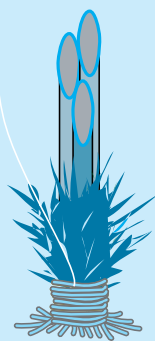
佐々木榮七



蒲生吉夫



鈴木武次



12月定例会

平成16年12月定例会は、12月6日から22日までの17日間の日程で開催されました。定例会では、長井市保育所設置条例の一部改正などの一般議案5件、一般会計及び特別会計補正予算案5件等が提案され、全議案を可決しました。また、人事案件1件、請願1件、議案案1件は可決しましたが、請願2件を継続審査とし、請願1件は否決しました。

補正予算案を可決

はなぞの保育園は民間に移管

本定例会には、一般会計に5千30万9千円を追加する補正予算議案が提案されました。さらには、斎場火葬業務等委託8百万円（平成17年度）、誘致企業立地補助金1億3千9百万円（平成17年度から18年度）、小学校パソコン導入事業4百48万円（平成17年度から21年度）、の債務負担行為（市が将来にわたる費用を負担する行為）の補正が提案されました。

一般会計補正の主なものは、

人件費では、人事異動や給与改定等により2千16万5千円、民生費では、介護保険特別会計繰り出しに61万2千円、保育園及び児童センター費に3百55万7千円、生活保護費に1千6百99万3千円、商工費では、損失補償費に4百48万7千円、土木費では、公共下水道事業特別会計繰り出しに4百83万5千円、教育費では、私立幼稚園就園奨励費補助金に3百9万1千円、小学校施設整備として171万6千円、ス

クールバス運転業務委託料に126万円等を追加するものです。本補正予算は、予算特別委員会では審議の後、採決の結果、賛成多数で可決しました。また、本会議では、反対討論の後、採決の結果、賛成多数で可決しました。

また、一般議案では「長井市保育所設置条例の一部改正」が提案されました。本議案は市が運営する「はなぞの保育園」を平成17年4月から長井市社会福祉協議会へ移管するために提案されたものです。

この主旨は、行財政改革の一環として、民間に運営を移管するもので、公設民営と民設民営を比較した場合の税財源6千6百万円の差が出ることから、長井市社会福祉協議会に移管すること。また、当初予定をしていた清水保育園よりも規模が大きいことから、多くの臨時保育士の身分安定に寄与できる可能性が高いこと。長井市福祉協議会はお年寄りや障害者の福祉分野業務を既に行っているが、子どもたちの福祉面も含め、全ての

世代の事業をやって頂けるものと考えること。等から、17年度当初から実施したいとして提案されました。

本議案は、厚生常任委員会に付託し審議され、また一般質問及び予算特別委員会でも質疑が交わされました。

質疑では、はなぞの保育園を移管する理由はなにか。移管先とする社会福祉協議会は保育業務のノウハウがないのではないか。移管するメリツトはなにか。市の保育計画方針はあるのか。保護者に対する十分な説明がなされていないのではないか。等について質問が出され、当局からは行財政改革の柱の一つとして実施すること。民間の雇用の創出にも貢献できること。市の保育計画に基づいて運営を継承することを確認していること。保護者に対する説明が不十分であれば理解いただく努力をすること。等の答弁がなされました。

厚生常任委員会では、審議の後、採決の結果、本議案は賛成多数で可決しました。

また、本会議では、賛成、反対双方の討論がなされた後、採決の結果、賛成多数で可決しました。



人事

人権擁護委員の推薦同意

樺 徳 雄 さん

（上伊佐沢1876番地）

平成17年2月28日をもって任期満了となるため、引き続き推薦することを提案されたもので、全会一致で同意しました。

市政に対する 一般質問

12月定例会では8名の議員が市政全般にわたる質問を行いました。その概要をお知らせします。

なお、質問の文章は各議員が要約して執筆し、答弁は当局がまとめたものです。また、文中のQ. は議員からの質問、A. は当局からの答弁となります。



蒲生 光男 議員

長井線など予算の見込みは

答 弁

山鉄支援は市民と県、沿線市町で

Q 今年度は台風のあたり年間最多となる10個が上陸しました。また追い討ちをかけるように中越地震が発生し甚大な被害に見舞われ、被害を受けられた方の一日も早い復興を願うものです。集中豪雨や真夏日を更新する自然の力は、環境を省みない私たちに對する警告と受け止めなければなりません。

政府は次年度の国家予算を82兆円あまりとしましたが、自然災害がもたらす交付税などへの影響をどのように見ているか伺います。長井市はこれまでも可能な限り改革を進

め、今年度は調理場を委託し、来年は保育業務を委託する計画ですが、民間で出来ることは民間でという発想は当然です。ただ9月の決算委員会でも指摘しましたが、収入未済額5億2千万円の対策などについて新年度予算にどう反映するか、さらにスイング・ガールズ効果で沸いた長井線も、基本的には経営のピンチでありその見込みについても説明をお願いします。

A 16年度に発生した自然災害は、17年度の特別交付税で措置されることになるため、特別交付税の配分に大きく影



安 部 隆 議員

中越地震の教訓を踏まえた

防災対策は

答 弁

地区連絡体制網の整備で対応

Q 今年度は、台風による風水害や中越地方の地震発生により、甚大な被害を余儀なくされた被害住民の苦悩は、いかばかりかと存じます。

このような、自然災害に對し迅速な対応が望まれます。

響するものと認識しているところです。
収入未済金対策は、17年度予算編成方針に「収納率向上に、より一層努めること」と明記するとともに、数値目標を明確にするようにしました。なお、具体的な対策の検討等を行なうためのプロジェクト

の構築に向けて、税務課を中心に取り組んでいます。
フラワー長井線は、地域を挙げた支援が必要です。高校生や希望や署名の取り組み等、市民の盛り上がりもありますので、県や沿線市町協力し予算対応を考えます。

住民に對して早期避難及び状況把握や情報収集、広報活動の対応には地域防災無線の整備は不可欠であり、住民の避難誘導に際しての避難場所やルートを示す、ハザードマップの作成配布や公的備蓄等、



災害に備えて…2005年出初式

市の対策状況を伺います。

A 防災無線は、財政事情もあり、すぐに整備することはできませんので、当面は広報車での広報や地区連絡体制網の整備を進めます。ハザードマップは、県の補助を受けて検討します。また公的備蓄は必要最小限の備蓄計画を策定し、全国組織を持つ供給業者と提供協定を検討します。

Q 国と地方の税財政を見直す三位一体改革の全体像が示されました。この改革はいままでの補助金や地方交付税に頼る運営から、地方への税源移譲により地方税を増やし自治体の自立を促そうというの

が、改革のねらいと理解します。

すると、多少、国の調整処置はあるとしても、地方自治体間で財政力、税収力に差が出るのが避けられないと思いますが、今後、公共サービスを含め、当市の財政運営及び税制度におよぼす影響は、

A 17年度中に18年度以降5年間程度の、中期的な財政展望を行い収支均衡を図るための、具体的な歳入確保策や歳出削減策を検討することになります。手段としてはいろいろありますので、必要に応じて具体的に検討しなければならぬと考えています。



蒲生吉夫議員

市立はなぞの保育園をなくすのは問題

答弁

民間にできることは民間に

Q 市立はなぞの保育園が民間に移管することになれば、3歳未満児の公立保育園がなくなり民間だけになります。市民が公・私を選択できる事が重要だと思いますがどうか。

A はなぞの保育園を受託しようとしている社会福祉協議会は、3歳未満児の保育ノウハウがないことや保育方針なども聞いてません。来年度4月1日から90人の定員で保育を始めるには無理があると考えますがどうですか。

はなぞの保育園は、築24年経過しております。議会には施設の管理維持費は社会福祉

協議会がすべきとしています。が、社会福祉協議会理事会では、建物の補修は市が行なうという形をとると言っていますがどうなりますか。

A 行革では「民間にできることは民間に」という根本的な方針から、はなぞの保育園の運営も社会福祉協議会に移管したい。

行政が保育施設の運営を始める時に、最初からノウハウがあった訳ではありません。変革期には新規参入も必要です。以前は社会福祉協議会が運営しており、この3月には研修会を開催し万全を期しま

す。

大規模修繕は、現在国・県の補助が4分の3です。三位一体の改革がこの先不透明ですが、最終的には市が責任を負うことになります。

Q 市民の安全確保のために歩道・自歩道などの標識は看板となっていますが、自転車が行き止まりでも良い歩道・自歩道なのか路面に直に表示すれば最も分かりやすいと思います。関係機関と協議しながら雪解けには実施願いたい。

A 自歩道の路面標示の実施について、高齢者の事故が少しでも減少するよう、交通問題研究会に諮り、公安委員会に要望していきます。



保育方針は継承…



高橋孝夫 議員

保育園移管の判断根拠は

答 弁 民間移管で行政コストの低減・スリム化を実現

Q これまで、行財政改革は、行財政改革推進委員会答申・行政改革大綱そして行政改革実施計画で内容が示され、それに基づいて実施されました。しかし、保育園の移管は、答申・大綱そして実施計画では「清水保育園」としていたものを「はなぞの保育園」で実施ということです。はなぞの保育園は、ゼロ歳児から3歳児までの極めて大切な時期の保育園として県内でも特色ある保育施設ですし市民の需要の多い保育施設です。他の3歳児からの保育施設とは異なります。にもかかわらず、突

A 行革大綱では行革はできるところから民間に任せていくものです。「民間にできるものは民間で」は国の大方針とも一致します。清水保育園と比べ、はなぞの保育園は規模も大きく、職員が休んだ場合に対応しやすく、運営上の利点が多いことが上げられます。さらに、市の保育施設で働く臨時保育士が20人おりますが、社会福祉協議会の試験

で採用になれば身分の安定につながります。

Q 本年度からの三位一体改革で公立保育園運営費は補助金から一般財源化となりましたが、総務省は交付税で全て措置しており影響はないと通知しています。移管のメリットはどこにあるのか、そして保育は向上するか伺います。

A 移管の最大のメリットは、「民間にできるものは民間に」ということになれば、民間の雇用が出てきて、経済が活性化すると同時に、行政コストの低減により、行政がスリムになることです。



民間に移管される「はなぞの保育園」

Q 財政再建5カ年計画の見通しについて、具体的な数値目標は、市税、交付税等分母が大幅に減っている状況では



大道寺 信 議員

市民要望に

どの程度応えられるか

答 弁 一層の行革を推進し 福祉施策を実施

難しいものの、歳出削減は行財政改革を着実に実施に移し、一定の成果が上がっていることは評価するものです。そこで、視点を変えて市民サイドに立った場合には、計画期間後の平成18年度から市民要望にどの程度応えられるのか、ということで見えた場合の達成度をどのように捉えられているのか、お伺いします。

A 現行の財政計画は、財政の健全化を最重要課題として硬直化した本市の財政構造を抜本的に改革するために取り組んできたものです。その結果、主な財政指標は改善の兆

しが見え始めており、一定の評価が得られるものと考えています。しかし、景気低迷の影響により、市税収入や地方交付税が減少しているため、依然として厳しい財政運営を強いられており、一層の行政改革を推進しながら、市民の福祉向上に効果的な施策を実施していきます。

Q 多くの補助金がカット、あるいは廃止になった平成16年度予算の質疑では、「1年間厳しく議論し、来年度予算の中では全額かどうかは別にして、復活も考えていかなければいけないもの」と思っており、行財政改革推進委員会の皆さんには、随時報告しながらご議論願いたいと思っていますところである」と答弁を受けました。そこで、補助金についてどのような議論がなされ、平成17年度予算編成ではどのようにしていくお考えなのか、お伺いします。

A 補助金については、16年度と同様の方針で、必要性を勘案し、事業費に対する補助を中心に行なっています。



必要な事業費には補助金を



藤原 民夫 議員

地場産業に息吹き込む

統計手法を

答弁

統計情報を基に事業を選抜

Q 平成14年市工業統計調査によりますと、製造品出荷額が落ち込んでいます。対前年比で、一般機械が30・1%減、精密機械が20・0%減、電気が14・2%減と、長井市の基幹産業が軒並み大きく落ち込

んでいることは重大です。

また同じ平成14年商業統計調査によりますと、商店数は3年前に比べて46店の減、商品販売額も15・1%の減。なお、売場面積1500㎡の大型店は4店で、年間商品販売

額は27億8千万円。これは、同業種の「その他の小売業」152店の商品販売額合計の21・7%を占めております。

冷え込んでいる地域産業を回復させることは長井市の最重要課題。これまでの企業誘致型振興策から、地域のもつ多面的な機能を再評価し、地域再生につなぐ開発型振興を図ることが見直されています。

そのために「産業連関表」の統計づくりが必要。ある産業への投資効果、生産、雇用、付加価値の波及計算等、統計手法の検討を考慮すべきでは

A 統計は重要であり、統計の中には、時代の変化が映し

出されています。統計情報を

基に、時代の変化を先取りし、これから求められるものを見出し、事業化を進めることが必要で、そのための統計であるべきと考えています。全体のバランスをとり、地方で出来ることは地方で、民間で出来ることは民間で、の原則のもとに長井を発展させていく考えています。

長井の経済力は、県内でも上がってきていますし、市民所得は西置賜では一番です。NPOも7団体あり、頑張っていることは、評価出来ると思います。



地域産業回復が最重要課題



谷口栄子議員

安心・安全の

まちづくりについて

答 弁

自主防災組織助成事業で対応

Q 安心・安全の地域づくりや、いざという時に備えて、四ッ谷地区にも地区安全推進連絡協議会（自主防災組織）が設立されました。このような自主防災組織設立地区への助成、支援策について伺います。

A 登下校時の通学路の安全確保の対応について「道路が暗くておっかない」との声が、中学・高校生から出ています。防犯灯の設置、管理等、172万円の補正もされていますが、その状況や市内小・中学校での通学路の安全チェックは行なわれているかお伺いします。

A 自主防災組織への支援策

として防災訓練や研修に対する助成を検討いたします。

また、資材や機材の整備については、宝くじ普及事業の一環の自主防災組織助成事業をご活用ください。

Q 冬期間の通学路で安全確保の要望がある歌丸・添川線の防雪柵設置について、危険防止、安全対策から検討すべきだと思いますが。

A 歌丸・添川線は主要な幹線道路ですが、冬期間は地吹雪により度々危険な状態になりますので、早期に防雪柵を設置するよう検討します。

Q はなぞの保育園の保育方

針と、子育て支援センターの取り組みと拡充についての考えはどうですか。また、介護予防と健康づくりに、筋力トレーニングで身体機能の向上を図る取り組みをしてはどうでしょうか。

A はなぞの保育園の保育方針は、社会福祉協議会に市の保育方針を継承し、さらに民

間の活力を導入して、サービスの向上をしていただきます。子育て支援センターはこれまでの事業がさらに発展するようになっています。



内谷重治議員



まちづくりビジョンの再構築を

答 弁

市民団体やNPOを支援

Q 現在、長井市を含めた地方自治体にとって重要な課題である三位一体改革は、国庫補助金を削減し、その財源を交付税と地方税に移譲することにより、地方自治体の財政面での自由度を高めようとする

改革です。その目的は、地方自治体の自己決定、自己責任の幅を拡大し、自由度を高めて創意工夫に富んだ施策を展開することにより、住民ニーズに対応した多様な個性的な地域づくりを可能にするこ

とだと考えます。

これからは、正に自立した自治体としての真価が問われる時代に入ったと思います。

財政再建後の平成18年度からの自立計画策定に向けて、どのような方針で財政・まちづくりビジョンを再構築するのかお伺いいたします。

A 最上川の活用や菜の花や秋桜等を植栽し、花と水に特化したソフト中心のまちづくりを進めます。スウィングガールズで注目された長井を生かすテレビドラマ化誘致にも



冬の通学路除雪は万全に



市街地活性化に支援

取り組み、文化活動につなげます。

Q 第4次総合計画では、これからの自治体のあり方と産業振興の2つを最重要課題としています。施策の展開にあたっては、選択と集中、情報公開の理念が必要不可欠と考えますがいかがですか。

A 産業振興は、本町や大町、十日町のように自主的な事業を行なっている団体へ支援し市街地の活性化を図ります。

一方、工業団地や宅地造成を行政で行う時代ではなく、民間事業が展開されやすい環境をつくります。観光も重要な産業であり、観光協会や商工会議所が中心の新しい体制をつくります。協働のまちづくりには市民団体の自立も必要で、NPOの支援をしていきます。

予算特別委員会



総括質疑

保育委託は 充分な理解のもとで

町田義昭委員 保護者への説明は8月以降2回程度であり周知不足は否めない。市長、助役が説得に向け、汗をかく必要があるのでは。

目黒栄樹市長 いわゆる火種が不信感にならないよう丁寧な説明をしていきたい。

委員 行財政改革の必要性は認めるものの、市民の痛みを最小限におさえる努力も必要なのではないか。

市長 民間委託の背景、現在の事情、将来の方向性をご理解

解いただくよう努力したい。

委員 民間委託による保育園の改善こそが大目標である事もPRすべきと思うが。

市長 内部の検討委員会でも時間をかけたが、臨時職員に対する待遇改善にも効果があるという判断もありました。

委員 学校での、授業内容の3割削減による「ゆとり教育」が始まって3年目になるうとしていますが、全国的に学力低下等の問題が出ています。また、世界の中でも読解力の低下が指摘されていますが、当市の教育環境で心配はないですか。

大滝昌利教育長 学校完全週5日制がスタートして3年目。休み中の生活や学校生活も安定しており、不登校生の減少など削減の効果が表われています。

公平性を重視して 検討を

大道寺 信委員 浄化槽市町村整備推進事業の基本的コンセプトは。



目黒栄樹市長 個人の負担を軽減し、維持管理も市が管理すればある程度安くでき、河川の水質浄化を推進できることであると思います。

委員 現在検討されている負担金の額がどのようになるのか。また、使用料はどの程度を考えておられるのか。

浅野敏明建設課長 負担金は5人槽で基本事業費の1割と、高度処理の増額分の2分の1は受益者負担とし、16万円。使用料5人槽で1ヶ月当たりの維持管理費、法定検査費、元利償還50%分を個人負担とし、合わせて月5千6百円と考えております。

委員 多額の工事がかかった農業集落排水と比較して公平性という点で問題があるの

ではないか。

建設課長 後年度負担をこの事業で負わないような料金設定についても考慮すべきだと思います。

委員 公平にするという点では、もう少し検討が必要ではないか。

市長 市民の負担が不公平にならないように、知恵を出して検討していきたい。

旧西置賜郡役所を まちづくりの拠点に

我妻 昇委員 オープンして半年以上が過ぎた旧郡役所ですが、単に文化財としての存在ではもったいないと思います。

他市における博物館や資料館の状況を見ると、観光客の激減で収入が減り、維持費は変わらないため市の財政を圧迫していると聞きます。その上、市民の利用も少なく閑散としているようです。

現在、長井市で盛り上がりつつある「まちづくり」の流れをバックアップするためにも、



旧郡役所の運営をNPOなどの市民団体に委託してはどうですか。

目黒栄樹市長 基本的には賛成です。土日や夜間も利用でき、創意工夫で各種イベントを行なうには行政では無理だと思っています。これから指定管理者制度の議論をしつかりとして、財団法人文教の社ながらから事業委託・業務委託といった形になるのか、最終的には教育委員会で結論を出すことになります。また、建物だけではなく周辺の整備も市民の皆様の要望を聞きながら進めていきます。

職員派遣は必要か

蒲生吉夫委員 保育園民間委託について一般質問では、随時民間委託していくと答えています。児童センターまで含め全部を委託する方向に変わりありませんか。

目黒栄樹市長 行革委員会の民間委託という答申を良としており、順番は指示しておりません。

委員 はなぞの保育園の父母の会から民間移管に対して不安な声として議会に要望書が届きました。的確に指摘しています。父母の会に理解と納得が得られたと感じましたが、市長 移管後も保育サービス、料金等に不安のないよう説明し、了解いただいたと思う。

委員 保育ノウハウのある社会福祉協議会に委託するならば、市からの職員派遣など要らないのではないですか。

市長 新規採用の保母には、同じ園の経験者もあり、他に園長、主任保母、さらに県の

指導も得ながら万全を期すものです。

委員 希少種チョウセンアカシジミの卵が盗まれました。生息区域を明確にして保護する必要があります。

平進介文化生涯学習課長 これまでの生息地域未公表保護の方向から、地域ぐるみの保護運動で対策を推進したい。

討論

・自衛隊のイラク派遣を延長せず即時撤退を政府と国会に求める意見書提出についての請願に賛成

(蒲生吉夫議員)

自衛隊の存在を百歩譲って認めたとしても、イラクへの派遣は日本国憲法で定めている戦争の放棄、戦力の不保持に明らかに違反をしている。自衛隊の即時撤兵を決断し世界平和、安全に貢献すべきであり、趣旨に賛同し賛成とします。

・長井市保育所設置条例の一部を改正する条例の制

平成16年度 一般会計補正予算の主な内容

(単位：千円)

- 人件費等 20 165
- 介護保険特別会計繰出 ... 612
- 臨時保育士賃金 7 584
- 生活保護費(扶助費)... 16 993
- 損失補償費(商工振興費)... 4 487
- 公共下水道特別会計繰出 ... 4 835
- 初期消火用軽可搬ポンプ購入費 ... 664
- 私立幼稚園就園奨励費補助費 ... 3 221
- 学校施設修繕料及び整備等工事費 ... 1 716
- スクールバス運転業務委託料 ... 1 260
- 市民文化会館需用費 1 327

定について反対

(藤原民夫委員)

保育予算は大きくなったというが平成15年度決算では2%にすぎない。一方、システム開発業務委託など明確でない事業には極めて甘い。こうした方向には見向きもせず、弱い立場の福祉・保育に大なたをふるう議案には到底納得できるものでなく反対します。

・長井市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について賛成

(大道寺 信議員)

財政面が厳しい中で、全て「公」が行なうことは困難な情勢にあり、一方では、臨時職員の処遇は低く、長期雇用も確約されたわけがなく、不

安定であり、常に雇用不安を抱えていること等から、はなぞの保育園を社会福祉協議会へ移管することは、臨時職員への処遇改善につながる可能性が拡大し、延長保育や一時保育などサービス向上も期待できるものであり、賛成するものです。

・平成16年度一般会計補正予算第八号に反対

(藤原民夫委員)

火葬場の全面民間委託・炉の運転管理すべて民間に委託することは何でも経費削減と称して他人任せにしてしまう殺伐とした別れでなく、気配りのできる職員の配置を出来ないものかという点で反対するものです。



2月11日 あか 「雪灯り回廊」 の巻

長井のバレンタインデーの夜をロマンチックに演出した雪灯り回廊から1年。2回目の今年はどんな企画で盛り上げるのか。

また、まだまだ認知度が低いこのイベントをどうやって市民に浸透させるかなど、期待を込めてスタッフの一人である横山直幸さんに取材してきました。

そもそも雪灯りとは？

寂しくて厳しくてつらい長井の冬は、どうしても外には出たくないものです。そんな夜、やわらかいロウソクの灯りによって街中が明るくなり、いつの間にか集まってきた人々の心も暖かくなる、そんな瞬間を演出したい。しかも、バレンタインデーの甘い夜、あちらこちらで若者たちが愛をささやく。

つらいばかりではない長井の冬を感じてもらいたいのです。

昨年の反省点は？

説明や連絡の不備で

各種団体に迷惑をかけてしまった。一回目ということもあって広報の面で行き届かず「参加したかったのに」との声があった。大きな雪像は上に登ると危険なので人を張付ける必要があった。マップ

等で見どころをもっと分かりやすく紹介すべきだった。などです。

今年のポイントは？

今回はチャリティイベントとして開催します。川西町にあるコロニーさんで作っても

そして、話題のウISINGG ガールズで置賜に浸透しつつある「ジャズ」を通して、12日の東北学生音楽祭（川西フレンドリープラザ）や12・13日の雪灯籠まつり（上杉神社）との連携と相乗効果をねらいます。

見どころは？

タスパークホテル・あら町のポケットパーク・桑島記念館・長井駅・旧郡役所などです。それぞれ工夫し感動できる仕掛けがありますので楽しみにして下さい。

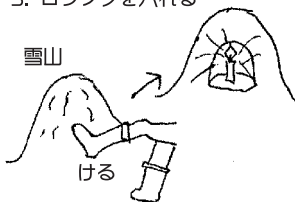
今年は福祉施設との協力によりチャリティイベントとして幅の広がりをみせる「雪灯り回廊」。

長井市民だけでなく周辺からも人が集い、数年後には置賜3市5町が連携をとる冬の観光イベントとして成長を遂げることを期待しております。

詳細は財置賜地域産業振興センターのホームページをご覧ください。

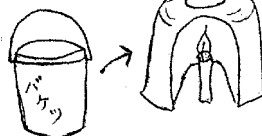
【例2】雪山をつくる

1. 雪山をつくる
2. 足でけて、横穴をあける
3. ロウソクを入れる



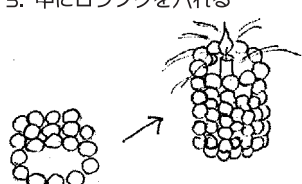
【例1】バケツを使う

1. バケツに雪を詰める
2. バケツをひっくり返す
3. バケツを取り、中をくり抜く
4. ロウソクを入れる



【例3】雪だまを重ねる

1. 雪だまをつくる
2. 雪だまを円柱状に重ねていく
3. 中にロウソクを入れる



雪灯り
(スノーランタン)
の作り方

総務 文教

支援を継続すべき

付託されました議案2件、
請願1件の審査を行ないまし
た。

議案第71号「長井市市税条
例の一部改正」については、
学校行事や全県規模以上の体
育大会においての入湯税を、
課税免除することと現条例の
不足を国にならない、整備す
るために提案されたものです。
質疑では、課税免除にあたっ
ては関係機関と十分調整し、
運営がスムーズに行くように
対応してほしいとの要望が出
され、採決の結果、全員一致
で可決しました。

請願第12号「自衛隊のイラ
ク派遣を延長せず、即時撤退
を政府と国会に求める意見書
提出」については、イラク全
土に非常事態宣言が出され、
派兵しているサマワでも追撃
砲が打ち込まれ、戦闘地域化

しており、また世論調査では
国民も撤退を望んでいること
から、即時に自衛隊の撤退を
決断し、平和外交と軍事によ
らない方法で国際平和に貢献
するよう、意見書を提出して
ほしいとするものです。審査
では、自衛隊員は大変危険に
さらされており、部隊を派遣
した多くの国も撤退を表明し
ています。このまま続けるこ
とによって日本が危険にさら
されることがないよう撤退す
べきとの意見。

一方では、イラクは国民自
身の力によって、徐々に自治
が回復し、復興途上であり、
自衛隊はイラク国民からも歡
迎されているので、今、撤退
するべきではなく、このまま
支援を継続すべきであるとの
意見がだされ、採決の結果
本請願は不採択となりました。

厚生

はなぞの保育園の 運営を委託

付託になりました議案2件
の審査報告をいたします。

「長井市特別職に属する者の
旅費及び費用弁償に関する条
例の一部改正」は、消防団員
が研修に参加した場合の費用
弁償について新たに措置すべ
く、所要の改正を行なうため
提案されたもので、全員一致
で可決しました。

「長井市保育所設置条例の一
部改正」については、長井市
はなぞの保育園を長井市社会
福祉協議会へ移管するために
提案されたものです。

請願

不採択

● 自衛隊のイラク派遣を延
長せず即時撤退を政府と国会
に求める意見書提出について
の請願（西置賜革新懇話会代
表世話人・今泉義憲・高山悌
三郎）

継続審査

● WTO 農業交渉および東ア
ジア各国との FTA 交渉に関
する請願（長井・西置賜農
者会議議長・蒲生吉夫）

審査に当たり財政課長から、
平成15年度の決算額をベース
として税財源への影響額の説
明があり、質疑では、民設民
営の場合と、公設公営の場合
の国庫負担金と県負担金がど
うなるか、保育園移管にあた
り補助金の返還の対応は、施
設の大規模修繕を行う場合の
経費はどうなるか、社会福祉
協議会に移管するにあたり覚
書が必要では、社会福祉協議
会の保育方針はなどについて
質疑がなされました。

討論では、社会福祉協議会

採 択

● 市道74号「森線」・239号
「森ヶ沢線」の道路拡張整備
について（森区長・井上今朝
雄）

● 「食料・農業・農村基本計
画」見直しに関する請願（長
井・西置賜労働活動者会議議
長・蒲生吉夫）

は、経験やノウハウもないと
思う。父母の不安もあり、公
設の選択肢も残すべきで反対
です。

財政は厳しく、移管も行財
政改革の一環で、民営化によ
り利便性の向上や雇用の確保
などのメリットも生じる。た
だ、説明不足であり、市民に
理解を得られるように努力して
いただき、賛成であるとの意
見が出されました。

採決の結果、本案は賛成多
数で原案のとおり可決すべき
ものと決定いたしました。

任 会 点

結果など

産業建設

積極的に働きかけを

「長井市誘致企業基金条例の一部改正」については、市が誘致した日鍛バルブに対し、用地取得に伴う補助金を交付してきたが、一旦返還されたことにより、同社が進出の際は再び交付するため基金として保管するもので、この度の改正は平成18年12月28日まで

とするものです。

審査では、協定締結以来10年を経過し誘致も厳しい状況だが、同社は生産体制の再構築で本市が候補地として視野に入っており、進出の可能性が高いこと、雇用の場を確保できること、誘致を願った経緯もあるなど積極的に働きか

常 委員 焦 主な審査

けるべきとして、全員一致で可決すべきものと決定いたしました。

請願第15号「市道74号森線・239号森ヶ沢線の道路拡張整備」については、森区民より提出されたもので、趣旨は、当該市道は地区内の幹線道路であり、重要な路線ですが、幅員も狭く毎日の生活に苦慮している状況で、道路拡張整備を願っていたものです。審査に際し現地踏査し意見を聴きました。この路線については、諏訪堰土地改良区の了承を得て、防護柵の移設や国道287号バイパス工事との関わりなど、全体計画のなかで地元の協力を得ながら要望に応える必要があり、願意は妥当で採択すべきものと決定いたしました。

意見書

・地球温暖化防止のための森林呼吸源対策の確実な推進を求める意見書
地球温暖化防止に向けて京都議定書が採択されており、これを踏まえ、政府は森林吸収量の3・9%確保という大きな目標を設定しているが、我が国の森林設備を担ってきた林業、木材産業を取巻く環境は厳しく、目標を達成することは極めて困難な状況である。このため森林整備に必要な財源を確保し、あわせて国産材の利用を推進することにより、森林吸収源対策を通じて、林業の活性化と森林整備のための諸対策を一層充実させ山村地域の振興にも寄与するものであると考えられるものです。



市町村合併問題検討 特別委員会中間報告

平成17年3月を目途として近隣市町との合併問題についての調査、研究を行なうために平成16年6月23日に特別委員会が設置されました。

設置当初は米沢市・長井市・川西町の2市1町による任意協議会が設置され、協議が進められましたが、法定協議会設置については、本市議会が設置に至らず解散となりました。

その後、置賜広域病院を構成する南陽・長井・川西・飯豊の枠組みが浮上し、任意組織である検討協議会が設置されました。本市議会は、実現させたい枠組みであるとの考えに立ち、各市町議会との積極的な協議や交流を進めながら努力してきました。

しかし、南陽市から離脱表明がなされ、合併構想は振り出しに戻るようになりました。本委員会は、合併問題は一定の結論に達したものの今後、隣接市町との交流・親交を深めながら、状況変化に迅速に対応するため、委員会を継続することを確認しました。

傍聴席



清水町 安部 洋子

安心して暮らせる
まちづくりを

消費生活者の会では毎年12月定例会議会の傍聴を実施していますが、私には始めてのことなので期待して参加しました。一般質問では子供たちの登下校時の安全確保や子育て支援、老人介護の予防と健康などが質疑されました。これからの社会を担っていく子供たちや、今まで長い間社会に貢献してこられたお年寄りの方々に、安心して暮らせる安全で住み良い環境をつくっていくためには、行政だけに任せるのではなく、私たち市民も一緒に考え、協力する必要があるのではない

かと感じさせられました。議会傍聴は市政への関心を高めるためにも良い機会だと思います。市内には各種のサークルや団体がたくさんありますが、活動のなかでぜひ議会傍聴を計画していただき、より良い市政にするため、議員の皆さんや行政の皆さんが、いかに協力されているかを直に感じて欲しいと思いました。



3月

定例議会の

予定

(開会は午前10時)

2・25金) 告示

3・1火) 議会運営委員会

3・4金) 開会・予算特別委員会

3・8火) 一般質問

3・9水) 一般質問

3・10木) 一般質問

3・11金) 総務・文教委員会

3・14月) 厚生委員会

3・15火) 産業・建設委員会

3・17木) 予算特別委員会

3・22火) 予算特別委員会

3・23水) 予算特別委員会

3・24木) 表決・閉会

正式な日程は、議会運営委員会
会で決定します。

議会傍聴に
お越し下さい。

難しい手続きはいりません。議場入口で、氏名、住所を記入してお入り下さい。尚、議場へは庁舎東側階段をご利用下さい。

編集後記

2005年は酉(とり)年。人間の身近な動物としておなじみです。太陽を招く鶏の神話が有名です。

太陽神である天照大神が怒って、天石窟にこもりまわつた。神々は、鶏をあつめて鳴かせ、夜明けを告げた。天照大神は現われ、天地に太陽が出現した…。

地震、台風、洪水、津波被害の記憶が生々しいうちに2005年は明けました。新潟では多くの被災者が仮設住宅できびしい冬に立ち向かっています。

災害に負けない、安心・安全なまちを、どうつくっていくか。災害を予測することで行政も住民も防災意識が高まる…そのことがまざまざと見せつけられた一年でした。さあ鶏を集め鳴かせよう。

■編集委員(委員長・副委員長)
大道寺 信。我妻 昇
藤原 民夫 佐々木 謙二
蒲生 光男 渋谷 佐輔